

# GINGA REPORT 401

No.77  
2021.10

そらんぼ四日市 検索

発行日：令和3年10月1日  
編集&発行：四日市市立博物館・プラネタリウム  
電話：059-355-2700

## 10月の星空

星図：ステラナビゲータ9/(株)アストロアーツ

### 秋の四辺形とペガサス座

10月15日21時の星図

### 秋の魚たち

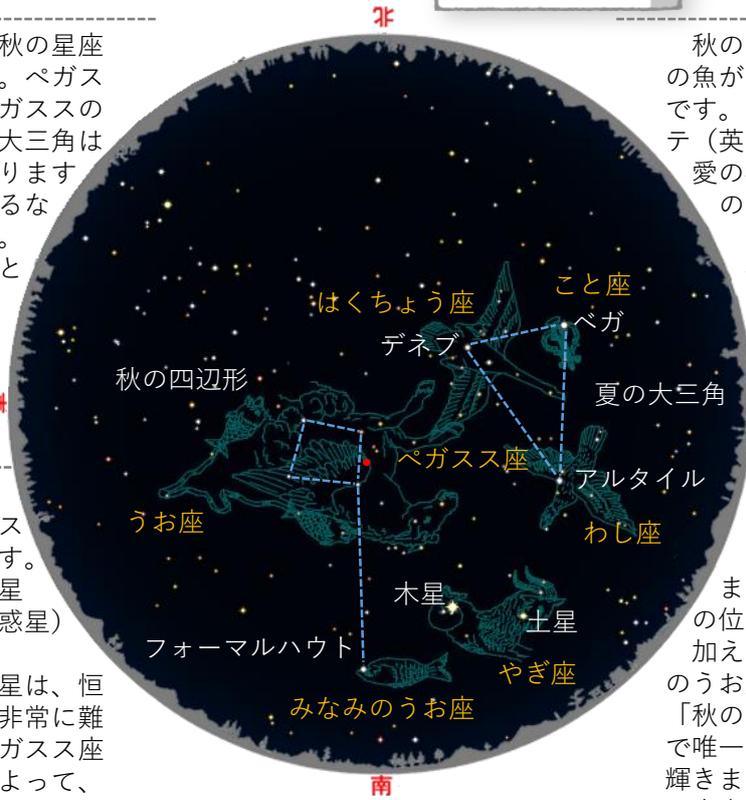
南の空に見えてきたのは、秋の星座探しの目印、秋の四辺形です。ペガサス座の胴体にあたるため、ペガサスの四辺形とも呼ばれます。夏の大きな三角は三つの星と三つの星座からなりますから、一つの星座が目印になるなんてお得な感じがしませんか。

ただし、秋の四辺形は2等と3等の星からなり、あまり目立ちません。秋の空、空気が澄んでいる夜に、頭の真上を見上げてみましょう。

### ペガサス座51番星

四辺形の西側の辺の真ん中付近(右図赤点)に、ペガサス座51番星という星があります。これは、周囲に初めて系外惑星(太陽以外の星の周りを回る惑星)が発見された特別な星です。

自ら光り輝くことのない惑星は、恒星や他の天体に比べて発見が非常に難しいものです。そのため、ペガサス座51番星の系外惑星の発見によって、2名の天文学者が2019年にノーベル物理学賞を受賞しています。



秋の四辺形を挟み込むように、二匹の魚がリボンで繋がれた星座がうお座です。それぞれ、美の女神アフロディテ(英名ビーナス)と、その子である愛の神エロス(英名キューピッド)の姿だとされています。

ある日、彼らが招かれていた神々の宴会に、怪物が乱入。その怪物から逃れるために、二人はあわてて魚に変身し、川に飛び込みました。ちなみに、そんな二人を真似ようと変身したのが牧神パン。しかし失敗して、やぎ座の姿になりました(銀河レポート401先月号参照)。そんな己を恥じてか、やぎ座も暗い星ばかりで目立ちませんが、今年は木星と土星がその位置を教えてください。

加えて、魚の星座という、みなみのうお座も見えています。魚の口には「秋のひとつぼし」と言って、秋の空で唯一の一等星、フォーマルハウトが輝きます。秋の四辺形の西側の辺を南の方向へたどれば、簡単に見つけることができるはずですよ。

## 10月のガリレオ教室

### 月面Xってなあに?

月面X(えっくす)とは、条件がそろったときに見られる、月面上の模様です。今回は月面Xに関連して、月の地形について学んでいきます。

日時：10月10日(日)

① 11:00~11:20

② 14:00~14:20

場所：5階 コズミックラウンジ

料金：無料

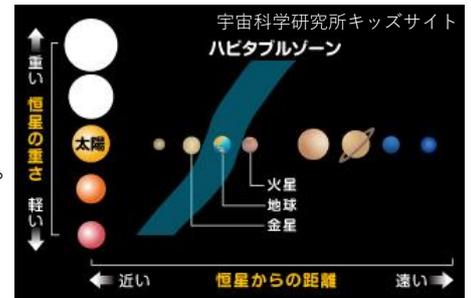
定員：14名

## 今月の天文トピック

### 系外惑星と宇宙人

宇宙人がもし存在するならば、地球と同じような場所ではないかと考えられています。それはつまり、長期間地表に水を留めておける惑星ということです。水が液体で存在できると考えられる場所をハビタブルゾーンと言います。惑星が安定的にこの範囲にあると、生き物が存在する可能性はずっと高くなると考えられているのです。

現在、様々な観測技術の発展によって、系外惑星の発見は増えています。その数なんと4800個以上。このうちハビタブルゾーンに存在すると考えられる惑星は数十個程度と、あまり多くありませんが、それでも地球外生命の可能性を想像するには十分な数ではないでしょうか。



## 博物館主催 スターウォッチング

### 博物館主催きらら号観望会

場所：博物館前市民公園

◇ 10月23日(土) 18:30~20:00

「巨大惑星を見よう」

◇ 10月30日(土) 14:00~16:00

「太陽と金星を見よう」



## 編集後記

宇宙人はいるのかどうか、その答えになるかはわかりませんが、当館の秋ファミリー番組は、バイザウェイという宇宙人が活躍するお話です。ちなみに筆者は「宇宙人はいない派」、正確には「地球人が最初の宇宙人である派」なのですが、バイザウェイのような可愛い宇宙人が宇宙に溢れていたらいいのにな、という希望は捨てられません。科学の発展に期待したいですね。

## 10月の月

6日 新月

13日 上弦

20日 満月

29日 下弦

※当日受付・参加無料です。  
※天候不良時は中止です。(通常3時間前に決定します)  
※マスク着用、手指消毒、観望会受付票の記入をお願いいたします。